

業務の概要

令和5年度 業務実績

◆高度・専門医療

(1) 精神科救急医療

- ・ 県内精神科救急の拠点として、24時間365日体制で救急患者の受入れ体制を確保
【救急時間外対応件数：177件】
【緊急措置及び措置入院件数：33件】
- ・ 措置入院患者に対して、保健所や市町村等と連携し措置入院退院支援計画書を作成
【作成件数：2件】
- ・ 医療機関の診察時間外に対応している「精神障がい者在宅アセスメントセンター」への相談対応
【相談件数：609件】

(2) 外来機能の充実

- ・ 外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施
【救急患者数：112人、うち入院件数71件 入院率：63.4%】

(3) 先進的な専門医療の充実

- ・ 「治療抵抗性うつ病」の患者に対し、侵襲性の低い治療法となるrTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）を実施。入院治療を基本としていたが、外来治療も試行
【実施件数：100件】
- ・ 地域の総合病院から麻酔科専門医の派遣を受け、難治性、治療抵抗性の精神疾患患者に週2回、m-ECT（修正型電気けいれん療法）を実施
【実施件数：293件】
- ・ 治療抵抗性統合失調症患者に対し、クロザピンの治療を実施
【実施人数：24人】

(4) 児童・思春期、青年期医療

- ・ 「子どものこころ総合医療センター」開設について基本設計を策定するとともに、運用面で病棟運営体制を検討。全職員参加型での推進のため、基本設計の説明会を実施
- ・ センター基本設計の策定に向けて、院内に設計と運営の2チームを整備し、必要事項の検討を実施
- ・ センターの4つの柱の一つである「支援者支援」について、県の関係課や信州大学、サポートマネージャー等と協議を行い、方針・方向性を決定

(5) 依存症医療

- ・ アルコール、薬物・ギャンブル等依存症各種プログラムを改編し、多職種でのプログラム運営を実施
- ・ インターネット・ゲーム依存症の入院・外来治療について、夏休みの児童・生徒を対象としたプログラムを開始
【実施人数：9人（入院5人、外来4人）】

- ・「依存症で悩む家族のためのプログラム（CRAFT）」を実施
【参加家族：14人 対象患者：13例
（アルコール7例、薬物3例、ギャンブル2例、ゲーム1例）】

（6）医療観察法による医療

- ・医療観察法ユニット（6床）において、社会復帰に向け入院対象者7人、通院対象者2人の治療を実施

（7）認知症の専門医療

- ・認知症疾患医療センターにおいて、認知症の専門相談対応
【専門相談（電話・面接）：2,110件】
- ・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」を継続
【もの忘れ外来件数：1,712件（うち鑑別診断件数 109件）】
- ・認知症地域包括ケア等を推進するため、「認知症疾患医療センター研修会」を開催
【参加人数：136人】

◆災害医療の提供

- ・「令和6年能登半島地震」の災害対応としてDPATを派遣
【派遣人数：5人、活動日数：5日】
- ・令和5年10月に県総合防災訓練に4人が参加、コントローラーとして2人派遣
- ・長野県DPAT研修会に参加し、7人がローカルDPATとして登録されたほか、研修会に講師3人を派遣
- ・DPAT先遣隊研修に4人が参加し、先遣隊員として登録

◆新型コロナウイルス感染症への対応

（1）感染者等の受入れ

- ・重点医療機関、一般医療機関として精神疾患を有する感染者の入院受入体制を確保
【感染者受入数：11人（入院日数：延べ89日）】
【疑い患者受入数：3人（入院日数：延べ8日）】
【PCR検査件数：189件、抗原定性検査件数：71件】

（2）ワクチン接種の実施

- ・西駒郷（障害者支援施設）の職員、入所者等へのワクチン接種を実施
【接種件数：270件】

◆地域連携の推進

（1）地域包括ケアシステムの推進

- ・訪問看護ステーション「こまほす」について、利用者の再入院防止及び新規利用者確保に向け、地域クリニックとの連携を強化するため、近隣医療機関への訪問を実施
【訪問看護件数：1,845件】
- ・初回入院患者の退院後訪問（1か月間毎週）実施により3か月以内の再入院を抑制
【再入院率※：16.0%】

※全国自治体病院協議会の医療の質の評価公表では、令和5年度の全国平均は22.0%であり、全国平均以下を維持

- ・精神障がい者の退院後の地域定着を見据えて、入院時から多職種チームで支援を行う「包括的支援マネジメント」を導入

【上半期モデルケース実施件数：13件、下半期実施件数：21件】

(2) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進

- ・児童相談所との連携強化のため、諏訪及び飯田児童相談所へ医師を派遣
- ・児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、自殺企図児童や児童虐待、摂食障害などの緊急入院に対応

【新規入院患者数（15歳以下）：51人（うち緊急・優先入院 13人）】

◆医療従事者の養成と専門性の向上

(1) 医療従事者の養成

- ・信州大学の医学生5人を受入れ
- ・初期研修医14人を受入れ
- ・子どものこころ専門医制度における専攻医を1人採用し育成

(2) 県内医療従事者の技術水準向上への貢献

- ・「子どものこころ診療センター公開講座」を開催【参加人数：120人】
- ・「認知症疾患医療センター研修会」を開催【参加人数：136人】（再掲）
- ・病院祭にて子どもの「うつ」に関する公開講座を開催【参加人数：108人】
- ・「長野県依存症研修会」を開催【参加人数：155人】
- ・県内の医療従事者、一般住民向けにインターネット・ゲーム依存症をはじめとする出前講座を実施【実施回数：23回】

◆医療の質の向上

(1) 医療等サービスの一層の向上

- ・患者の療養環境の改善とプライバシーの確保、感染対策のため、B1病棟（救急・急性期病棟）の全室個室化に向けた改修工事及び光庭の改修を実施
 - ・入院患者の利便性向上、病棟看護師の業務負担軽減を図るため、「ICカードキャッシュレス管理システム」の運用を開始
- ※入院患者が利用する売店、ランドリー、自動販売機、電話について、現金をチャージしたICカードのみ使用できるようにするシステム

(2) 病院ホームページリニューアルの実施

- ・精神科病院をより身近に感じて頂くため、病院ホームページのデザイン及びコンテンツのリニューアルを進め開設

(3) 信州大学等との連携

- ・連携大学院教育により勤務医1人の博士号取得に係る臨床研究を実施

◆業務運営の改善及び経営基盤の強化

(1) 業務運営体制強化のための取組み

- 全国からの専攻医を主とする精神科医師確保のため、リニューアルした病院ホームページに加え、新たに医師募集サイトを開設
- 令和4年度に「組織文化に関する調査」の結果から、院内全体で情報共有の改善に向けた取組みを実施。5年度の調査では、全ての項目において前年度よりも改善

(2) 経営改善への取組み

- 経営改善の取組みとして、毎朝のベッドコントロール会議において担当者が月初に前月の患者数を報告するほか、外来と調整し毎日入退院予定後の患者数を報告
- 地域移行等、在宅復帰に向けて適切な入院期間を確保するため、退院日の決定については、病棟師長が主導する旨を改めて周知

(3) 働き方改革

- 「超過勤務縮減強化月間」を設けて全職員に周知し、強化月間前よりも約3割削減
- 看護師の負担軽減や材料の適正管理のため、「医療材料在庫管理システム」を導入。看護師の材料管理業務時間が導入前よりも約4割減少

(4) 情報発信

- 院外広報誌「ここ駒通信」を発行し、関係施設などへ送付、伊南4市町村へ隣組回覧
- 地域住民への精神科医療の理解促進を目的に、上伊那地域の情報誌「月刊かみいな」へエッセイ記事を掲載

講演・研究発表等の状況

(1) 学会

学会の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
第7回日本精神薬学会 総会・学術集会	R5.9.16～ R5.9.17	岡山県 岡山市	五味 和彦 他*	アルコール依存症入院治療における向精神薬の処方実態調査(パイロット調査)
第7回日本精神薬学会 総会・学術集会	R5.9.16～ R5.9.17	岡山県 岡山市	○松本早苗 土田さおり 五味 和彦 山本 和幸	外来統合失調症患者におけるpaliperidone palmitate 3カ月製剤(PP3M)の受け入れに関する意向調査
第42回信州精神神経学会	R5.10.21	松本市	○原田 謙 田中 康平 久保田茂樹 吉崎 洋介	複雑性心的外傷後ストレス障害患者の7年間の治療
第42回信州精神神経学会	R5.10.21	松本市	○廣岡優璃子 鶴澤 正寛 原田 謙 犬塚 伸 埴原 秋児	クロザピンの血中濃度と副作用に関する検討
第33回日本医療薬学会 年会	R5.11.3～ R5.11.5	宮城県 仙台市	○土田さおり 松本 早苗 五味 和彦 山本 和幸	外来統合失調症患者におけるブロナンセリン貼付剤に対する意向調査
第57回日本作業療法学 会	R5.11.10～ R5.11.12	沖縄県 宜野湾市	池上 和代	自己分析レポートの活用が有効であったうつ病休職者への就労支援についての一考察
第30回日本精神科看護 専門学術集会	R5.11.22～ R5.11.23	埼玉県 さいたま市	平塚 理絵	精神科看護師が陰性感情を抱く原因と対処に関する文献検討
第30回日本精神科看護 専門学術集会	R5.11.22～ R5.11.23	埼玉県 さいたま市	坂間なつみ	精神科認定看護師実践報告
第19回県立病院等合同 研究会	R5.12.2	Web	池上 和代	自己分析レポートの活用が有効であったうつ病休職者への就労支援についての一考察
第19回県立病院等合同 研究会	R5.12.2	Web	坂間なつみ 小林菜悠子 米山 美穂	精神科の入院治療の質向上に向けた包括的支援マネジメント構築チームの取り組み

*他施設との共同研究

(2) 講演会等

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
<出前講座>				
ネット・ゲーム依存症 伊南子ども劇場	R5.5.14	駒ヶ根市	足立 順代	子どもの脳の発達とインターネット・ゲーム障害について
ネット・ゲーム依存症 青少年補導センター連 絡協議会	R5.7.5	駒ヶ根市	安田 航	青少年に関するネット・ゲーム依存症の治療と大人の関わり方について

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
キャリア開発支援プログラム 佐久大学	R5.7.6	佐久市	多々良恭子	自分を大切にしよう！自己肯定感、自尊感情を高めるために
ネット・ゲーム依存症 宮田小学校	R5.7.26	宮田村	佐藤みずき	ネット・ゲーム依存症について グループワーク
ネット・ゲーム依存症 高山村	R5.9.7	Web	佐藤みずき	インターネットの弊害から子どもを守る (ゲーム依存にさせない)
うつストレスケア 駒ヶ根市	R5.9.15	駒ヶ根市	北澤夕紀子	ゲートキーパー養成講座
薬の正しい使い方 飯島町地域自立支援事業所こまくさ園	R5.9.19	飯島町	五味 和彦	薬を何故飲むのか、錠剤やカプセルを噛んではいけない理由、「食後」とはいつを指すのかなどを簡潔に説明
PFA (Psychological First Aid) 心理的応急処置 上伊那消防職員協議会	R5.9.21	駒ヶ根市	北澤夕紀子	心理的応急処置とセルフケア
うつストレスケア 伊那市	R5.10.17	伊那市	北澤夕紀子	ゲートキーパー養成講座
ネット・ゲーム依存症 下伊那教育会	R5.10.31	Web	佐藤みずき	ゲームネット本人・家族への支援
PFA (Psychological First Aid) 心理的応急処置 消防団員等公務災害補償等共済基金	R5.11.11	長野市	北澤夕紀子	人道支援、災害時のメンタルヘルス、災害者支援、セルフケア
アルコール依存症 薬物依存症 ギャンブル依存症 上小保健師会	R5.11.16	Web	北澤夕紀子	若者の市販薬・処方薬依存、薬物依存症、自殺予防
うつストレスケア 伊那市社会福祉協議会 居宅介護支援センター	R5.11.17	伊那市	前川 瑞恵	ゲートキーパー養成講座
認知症 箕輪町包括支援センター	R5.11.22	箕輪町	三浦 典子	認知症について
ネット・ゲーム依存症 伊那保健福祉事務所	R5.11.26	南箕輪村	足立 順代 宮崎 洋	発達障がいと二次障がいとしてのゲーム依存症、ゲーム依存の発達障がい児の家族への支援
うつストレスケア 駒ヶ根市	R5.12.1	当院	多々良恭子	上手な話の聞き方、セルフメンタルケア
ネット・ゲーム依存症 辰野町	R5.12.2	辰野町	堀内さつき 那須野 冨	インターネットとゲーム依存症

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
精神疾患患者の回復・ 支援について 上伊那保健師会	R6.1.12	Web	鶴澤 正寛 坂間なつみ 多々良恭子	適応障害の診断と治療、看護や リハビリテーション
SST 精神障害者当事者の会	R6.1.23	箕輪町	多々良恭子 富田 雅俊	SST 問題解決のスキル
うつストレスケア 辰野町	R6.1.23	辰野町	楠田 洋子	ゲートキーパー養成講座
作業療法 箕輪町	R6.1.25	箕輪町	眞壁 陽子 池上 和代	当事者とのコミュニケーション の取り方や、自宅でする作業 療法
ネット・ゲーム依存症 南箕輪村	R6.3.23	南箕輪村	大澤 真歩	こどものゲーム依存と発達障がい こどものゲーム依存を予防する ためのゲームとの付き合い方
<講演会>				
第 25 回「子どもの心」 研修会 日本小児科医会	R5.5.14	東京都 千代田区	原田 謙	「キレル」はこころの SOS - 発 達障害の 2 次障害の理解から -
令和 5 年度 DPAT 先遣 隊隊員技能維持研修 DPAT 事務局	R5.5.27	東京都 大田区	臼井 裕子	研修ファシリテーター
令和 5 年度 DPAT 先遣 隊隊員技能維持研修 DPAT 事務局	R5.6.17	福岡県 福岡市	臼井 裕子	研修ファシリテーター
多職種連携研修 長野県看護協会	R5.7.1	Web	足立 順代	依存症について理解を深めよう
第 56 回研究集会 信州嗜癖および DV 研 究会	R5.7.8	塩尻市	足立 順代	ゲーム依存について
伊那市職員メンタルヘル スラインケア研修会 伊那市	R5.7.14	伊那市	埴原 秋児	職場のメンタルヘルス～ストレ スと病気のメカニズム・サポ ート～
令和 5 年度 DPAT 統括 者・事務担当者研修 DPAT 事務局	R5.7.22 ~ R5.7.23	東京都 港区	臼井 裕子	研修ファシリテーター
第 60 回全国自治体病院 協議会 精神科特別部 会 総会・研修会 全国自治体病院協議会	R5.7.28	静岡県 静岡市	原田 謙	遊ぶこと、粹付け、そして親支 援—ここ駒児童病棟が大切に していること—
駒木野懇談会第 52 回記 念大会 駒木野病院	R5.8.20	東京都 八王子市	宮脇真一郎	アルコール依存症看護 20 年を 振り返って～変わったこと、変 わらないこと～

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
箕輪町認知症フォーラム 2023 箕輪町	R5.9.2	箕輪町	中野 葉子	認知症の症状・治療について～ 認知症のことを学んでみませんか～
認知症サポーター養成 講座 めだかの学校	R5.9.8	駒ヶ根市	三浦 典子	認知症について
令和5年度長野県立 こころの医療センター 駒ヶ根 公開講座	R5.10.1	当院	原田 謙	子どもの「うつ」についての理 解と治療、子どもとのかかわり 方について
2023年度北陸・甲信越 ブロック大会 日本認知症ケア学会	R5.10.1	長野市	三浦 典子	地域包括ケアシステムにおける 認知症にやさしい共生社会に向 けた、駒ヶ根の取り組みについて
令和5年度DPAT先遣 隊研修 DPAT事務局	R5.10.28～ R5.10.29	東京都 港区	臼井 裕子	研修ファシリテーター
第55回公的扶助研究会 全国セミナー長野大会 全国公的扶助研究会	R5.11.12	佐久市	佐藤みづき	依存症への理解を深める～回復 への道を共に考える
PFA研修会 長野県歯科衛生士会	R5.12.10	安曇野市	北澤夕紀子	「PFA」サイコロジカルファース トエイド災害時における心のケア
第6回学術集会・総会 日本こころの安全とケア 学会	R5.12.17	Web	原田 謙	精神科病棟における発達障害を 持つ人の攻撃性へのケア ーキルはこころのSOSー
第7回長野県子どもの 摂食障害診療研究会 信州大学医学部附属病院	R6.1.6	松本市	熊谷 照美	摂食障害児へのステップアップ 表と看護介入の視点と実践につ いて
県立病院等リハビリリ テーション部門研修会 本部研修センター	R6.1.13	Web	原田 謙	大人の神経発達症と基本的対応
院内講演会 富士見高原病院	R6.1.19	富士見町	吉崎 洋介	思春期発達障害の理解と対応
発達障がい診療にかかる 研修会 昭和伊南総合病院	R6.2.15	伊那市	久保田茂樹 宮崎 洋	事例検討会 感情面とゲーム関連問題がある 不登校の中学校3年生の生徒と 家族への支援
認知症リハビリテー ション推進委員会研修会 長野県作業療法士会	R6.2.17	Web	小林茉悠子	精神科医療機関における連携と 実践報告
院内講演会 富士見高原病院	R6.3.1	富士見町	吉崎 洋介	摂食障害の基礎と治療 FBTと 当院での治療について

(3) 講義

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
信州大学医学部	R5.9.14	Web	眞壁 陽子 池上 和代	作業療法見学実習
	R5.10.27	松本市	埴原 秋児	器質性精神障害Ⅰ・Ⅱ
長野県看護大学	R5.5.9	駒ヶ根市	高橋たか子	アルコール依存症の症状とその看護
	R5.9.15	駒ヶ根市	竹内 玲子	病院オリエンテーションー精神看護実習に臨むにあたって
	R5.11.8	駒ヶ根市	大蔵 真理	長期入院患者の地域移行への支援ー地域生活を支えるための支援
長野県須坂看護専門学校	R5.5.10	須坂市	大蔵 真理	精神援助論Ⅱ
	R5.5.15	須坂市	大蔵 真理	
	R5.5.29	須坂市	大蔵 真理	
	R5.11.7	須坂市	熊谷 照美	
	R5.11.8	須坂市	熊谷 照美	
	R5.11.9	須坂市	熊谷 照美	
上伊那医師会附属 准看護学院	R5.4.6	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	精神看護の特質
	R5.4.13	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.4.20	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.4.27	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.5.11	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	精神看護の実際
	R5.5.18	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.5.25	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.6.1	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.6.8	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.6.15	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.6.22	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	
	R5.6.29	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
上伊那医師会附属 准看護学院	R5.7.6	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	精神看護の実際
	R5.7.13	伊那市	滝澤 直樹 小林 大地	精神看護実習の実際
信州木曾看護専門学校	R5.6.9	木曾町	犬塚 伸	精神機能・精神症状・脳の機能、 精神症候学・MSE
	R5.6.23	木曾町	原田 謙	治療・検査と看護①、精神症圏 の障害とストレス関連性障害
	R5.7.6	木曾町	黒川めぐみ	治療・検査と看護②、薬物療法、 治療・検査と看護③、m-ECT・ rTMS
	R5.9.7	木曾町	大倉 直紀	災害看護・国際看護
	R5.9.8	木曾町	埴原 秋児	器質性障害 1・2 (てんかん・認 知症を含む)
	R5.9.29	木曾町	原田 謙	児童・青年期の障害と看護 (摂 食障害、発達障害、パーソナリ ティ障害)
	R5.10.3	木曾町	犬塚 伸	依存症と看護①
	R5.10.16	木曾町	三浦 典子	老年看護援助論 I
	R5.10.20	木曾町	有川 万央	キャリア開発基礎講座
	R5.10.23	木曾町	高橋たか子	依存症と看護
	R5.11.17	木曾町	原田 謙	感情障害と看護①、統合失調症 と看護①
	R5.11.22	木曾町	熊谷 照美	児童・青年期の障害と看護 (摂 食障害、発達障害、パーソナリ ティ障害)
R5.12.1	木曾町	大蔵 真理	精神看護学概論	
岡谷市看護専門学校	R5.12.18	岡谷市	高橋たか子	精神援助論 I (依存症)
長野県看護協会	R5.9.8	松本市	高橋たか子	実習指導者講習会、実習指導方 法演習、精神看護学実習
長野県 DPAT 研修会	R5.9.7	Web	臼井 裕子	災害医療概論
	R5.9.15	Web	臼井 裕子	DPAT 派遣時の CSCA
	R5.9.23	長野市	臼井 裕子 大倉 直紀 北澤夕紀子	災害時のロジスティクス、地域 支援時の記録 (J-SPEED、EMIS 含む)

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

(4) 研究論文

著者名	題名	著書・雑誌名・集録名・ 発行年・出版社名
原田 謙 市川海沙希	<治療> 「発達障害の息子が興奮し、夜中に大声で怒鳴り散らしてしまうので困っている」と母親から相談されました。どのように対処すべきでしょうか？	『精神医学』第65巻5号 788-789 2023年5月 医学書院
原田 謙	神経発達症の2次障害としての反抗 挑発症・素行症	『児童青年精神医学とその近接領域』第 64巻3号 307-314 2023年6月 日本児童青年精神医学会
市川海沙希 原田 謙	<対処法> 「発達障害の息子が興奮し、夜中に大声で怒鳴り散らしてしまうので困っている」と母親から相談されました。どのように対処すべきでしょうか？	『発達障害Q & A - 臨床の疑問に答える 104問』291-292 2024年3月 医学書院

研修医受入れ状況

病院名	受入れ期間	受入れ人数
伊那中央病院	R5.4.3 ~ R5.4.28	1
	R5.5.8 ~ R5.6.2	1
	R5.6.12 ~ R5.6.30	1
	R5.7.3 ~ R5.7.28	2
	R5.7.31 ~ R5.8.25	1
	R5.10.2 ~ R5.10.27	1
	R5.11.27 ~ R5.12.22	1
信州医療センター	R5.9.4 ~ R5.9.29	1
	R5.11.1 ~ R5.11.24	1
	R6.1.9 ~ R6.2.2	1
飯田市立病院	R5.7.31 ~ R5.8.25	1
	R6.2.5 ~ R6.3.1	1
	R6.3.4 ~ R6.3.29	1

実習生受入れ状況 (*インターン等を含む)

(1) 臨床実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学 医学部医学科	6年	R5.5.8 ~ R5.6.1	1
	5年	R5.10.30 ~ R5.11.22	1
		R5.11.27 ~ R5.12.21	1
		R6.1.9 ~ R6.2.1	1
		R6.2.5 ~ R6.2.29	1

(2) 精神科看護実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
長野県看護大学 看護学部	在宅看護実習 4年	R5.5.23 ~ R5.5.24	3
		R5.6.20 ~ R5.6.21	3
		R5.7.18 ~ R5.7.19	4
		R5.10.10 ~ R5.10.11	4
		R5.11.7 ~ R5.11.8	4
		R5.12.5 ~ R5.12.6	4
	臨床看護実習 3年	R5.9.25 ~ R5.10.6	12
		R5.11.20 ~ R5.12.1	12
信州木曾看護専門学校	臨床看護実習 3年	R5.5.9 ~ R5.5.22	5
		R5.7.3 ~ R5.7.14	10
		R5.10.30 ~ R5.11.13	10
	精神看護援助論Ⅲ 病院見学 2年	R6.2.26	19
長野県須坂看護 専門学校	臨床看護実習 3年	R5.6.5 ~ R5.6.15	14
		R5.8.29 ~ R5.9.8	10
		R5.10.17 ~ R5.10.27	10
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2年	R5.7.31 ~ R5.8.10	10
日本精神科看護協会	精神科認定看護師 教育課程受講生	R5.11.22 ~ R5.12.1	1
長野県看護協会	訪問看護ステーション ぼれぼれ	R5.11.1 ~ R5.12.31 (期間中、7日間)	2

(3) 作業療法実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学 医学部保健学科	4年	R5.4.10～R5.6.9	1
	1年	R5.9.14	19
長野保健医療大学 保健科学部	4年	R5.9.25～R5.11.17	1

(4) 精神保健福祉士実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
群馬社会福祉専門学校	通信課程	R5.6.19～R5.7.4	1
長野大学 社会福祉学部	4年	R5.8.8～R5.9.1	1

(5) 薬学生精神科実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
横浜薬科大学 薬学部	インターンシップ 5年	R5.4.4	1
福山大学 薬学部	インターンシップ 5年	R5.6.22	1
星薬科大学 薬学部	インターンシップ 4年	R5.8.15	1
	精神科実習 5年	R5.10.10、R5.10.17	1
名城大学 薬学部	インターンシップ 5年	R6.3.12	1

意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和5年度は合計150件の意見、要望が寄せられた。これは前年度と比較し、21件増加している。

寄せられた意見のうち、実行可能なものは速やかに改善し、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

(単位：件)

ご意見の内容	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
福祉サービスの利用等に関すること	0	0	0	0	0
障がいや病状に関すること	0	0	1	0	0
医療に関すること	1	0	3	0	9
不安の解消・情緒安定に関すること	0	0	1	0	1
家族関係・人間関係に関すること	0	0	0	0	0
就労に関すること	0	0	0	0	0
家計・経済に関すること	0	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0	0
権利擁護に関すること	0	0	0	0	1
薬に関すること	1	3	0	2	2
栄養に関すること	27	12	6	5	9
作業療法に関すること	1	3	3	2	2
デイケアに関すること	0	3	2	2	7
訪問看護に関すること	0	0	0	0	0
接遇に関すること	21	17	15	2	5
虐待・家庭内暴力に関すること	0	0	0	0	0
環境整備に関すること	28	25	18	30	24
治療環境に関すること	37	33	19	12	18
その他*	55	29	18	74	72
計	171	125	86	129	150

* その他の意見については、病状によるものが大半を占めている。

病院運営各種委員会等

令和6年3月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会 *	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関すること
病院運営会議	病院の運営等に関すること
倫理委員会 *	倫理審査に関すること
医療観察法病棟 外部評価会議 *	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟 倫理会議 *	医療観察法ユニットにおける倫理に関すること
医療観察法病棟 地域連絡会議 *	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関すること
医療観察法病棟 運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関すること
医療観察法病棟 治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関すること

* 外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	<p>目 的： 職場の安全衛生に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場づくりの推進 超過勤務縮減の取組 職員相談体制の充実による心身の健康増進 5S活動の促進及び定着、公務災害の防止 交通安全の推進
医療安全管理委員会	<p>目 的： 医療安全に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保 医療事故等の検証による再発防止の徹底 医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発
医療ガス安全管理委員会	<p>目 的： 医療ガスの管理・運用に関すること</p> <p>活動実績： (年1回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ガス設備日常点検による安全の確保 安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施 医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発
院内感染対策委員会	<p>目 的： 感染対策に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策研修会の出席率向上 感染対策に関する理解度の促進 院内ラウンドの実施 感染対策情報の迅速な提供 院内感染予防対策マニュアルの改訂 新型コロナウイルスワクチン接種の実施
栄養委員会	<p>目 的： 入院患者の栄養管理に関すること</p> <p>活動実績： (年3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の食事満足度の向上策について検討 NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化 NST 介入につなげる方法の検討
栄養サポート委員会	<p>目 的： 栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートが必要な患者の早期抽出とモニタリング リフィーディング症候群チェックリストの作成 栄養サポートに関する研修会の開催 (4回) NST ラウンドの実施 (新規 54人、延べ 473人)

委員会名称	所掌事項
患者家族相談窓口 月例会議	<p>目的： 苦情、相談等に関する事</p> <p>活動実績： ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 (毎月開催) ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議</p>
教育研修委員会	<p>目的： 職員研修及び公開講座・出前講座に関する事</p> <p>活動実績： ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 (年4回開催) ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供 (院内研究発表会などの開催) ・精神科研修・研究センターとの連携</p>
クリニカルパス委員会	<p>目的： クリニカルパスの作成・管理・運用に関する事</p> <p>活動実績： ・患者パスの利用促進 (隔月開催) ・クリニカルパス利用促進のための啓発、広報活動及び調査検討、企画立案</p>
クロザリル治療委員会	<p>目的： クロザリルを用いた適正な治療の推進に関する事</p> <p>活動実績： クロザリルの治療申請について、4件の検討を実施 (随時開催)</p>
行動制限最小化委員会	<p>目的： 入院患者の隔離・拘束に関する事</p> <p>活動実績： ・院内における行動制限状況の適切性、最小化のための検討会議を定期開催 (毎月開催) ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施</p>
サービス向上委員会	<p>目的： 職員の接遇に関する事</p> <p>活動実績： ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 (年3回開催) ・院内掲示物ラウンドの実施</p>
事後審査委員会	<p>目的： 特定医師による特例措置の妥当性検証に関する事</p> <p>活動実績： なし (随時開催)</p>
児童運営委員会	<p>目的： 児童精神科治療に係る運営方針に関する事</p> <p>活動実績： 外来、病棟における運営方針の検討、見直し (毎月開催)</p>
児童虐待対策委員会	<p>目的： 児童虐待への対応に関する事</p> <p>活動実績： ・関係機関との迅速で適切な連携 (毎月開催) ・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施</p>
医療情報システム 管理委員会	<p>目的： システム管理に関する事</p> <p>活動実績： ・電子カルテ、オーダリングシステムの円滑な運用 (随時開催) ・院内の適正な情報化推進</p>

委員会名称	所掌事項
褥瘡対策委員会	<p>目 的： 入院患者の褥瘡予防と対応に関する事</p> <p>活動実績： ・褥瘡の予防、適切な治療の実施 (毎月開催) ・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施</p>
診療情報管理委員会	<p>目 的： カルテ記載・管理に関する事</p> <p>活動実績： ・診療録の量的、質的監査の実施 (年2回開催) ・災害時カルテの検討</p>
診療情報提供委員会	<p>目 的： 診療情報の開示に関する事</p> <p>活動実績： 診療情報開示請求件数 13 件 (随時開催)</p>
治験受託検討委員会	<p>目 的： 治験受託の決定と適正な執行に関する事</p> <p>活動実績： 新規治験の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 (随時開催)</p>
防災対策委員会	<p>目 的： 防災に関する事</p> <p>活動実績： ・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 (年1回開催) ・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施</p>
薬事委員会	<p>目 的： 医薬品の採用・廃止に関する事</p> <p>活動実績： ・適切な後発品採用の実施 (年2回開催) ・向精神薬等の適正な使用の推進</p>
QM 委員会	<p>目 的： 医療の質の向上に関する事</p> <p>活動実績： ・病院機能評価受審に係る準備 (随時開催) ・内部監査員による院内ラウンドの実施</p>
DPAT 運営委員会	<p>目 的： DPAT 派遣に関する事</p> <p>活動実績： ・DPAT 院内研修会の実施 (毎月開催) ・県主催の研修会、防災訓練への参加 ・「令和6年能登半島地震」の災害対応として DPAT を派遣</p>